

6. 公共施設類型ごとの個別施設計画

1) 行政施設

●現状と課題

市庁舎については、耐震化や狭隘化や老朽化等の課題から、現在地での建替えとする方針を決定し、令和2年12月より市役所庁舎解体工事を実施しています。

消防庁舎については、築年数が40年近く経過し、今後老朽化対策が必要となります。

塚越分署については、耐震診断の結果を受けて建替えを行い、令和2年8月より供用を開始しています。

●施設の評価結果

施設名	建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
		耐震基準	補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
市役所庁舎	S39	旧	建替中	-	-	-	-	-	-
消防庁舎	S56	旧	不要	C	C	B	C	C	53
消防署塚越分署	R02	新	-	A	A	A	A	A	100

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 市役所庁舎	建替え	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に市庁舎解体工事完了後、新庁舎建設工事に着工、令和5年中の供用開始を予定している。 供用開始後は、将来にわたって機能を維持できるよう、定期的な点検等により、施設の長寿命化を図る。
[2] 消防庁舎等 ・消防庁舎 ・塚越分署	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 消防庁舎は築年数が40年近く経過しており、計画的な老朽化対策を検討する。 両施設とも将来にわたって機能を維持できるよう、定期的な点検等により、施設の長寿命化を図る。

2) 集会・社会教育施設

●現状と課題

耐震化が必要な施設の耐震補強工事は完了しており、平成 28 年度には北町公民館を含む北町コミュニティ・センターの大規模改修を行い、令和 2 年度には市民会館の空調設備を改修していますが、最も古い中央公民館の築年数が 48 年経過しており、その他多くの施設も築年数 40 年前後と老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
中央コミュニティ・センター	中央公民館	S47	旧	済	A	C	C	C	C	45
	勤労青少年ホーム									
	市民会館	S49	旧	済						
塚越コミュニティ・センター	東公民館	S51	旧	済	B	B	B	B	B	75
錦町コミュニティ・センター	西公民館	S53	旧	不要	B	B	B	C	C	66
南町コミュニティ・センター	南公民館	S49	旧	済	B	B	B	C	C	66
北町コミュニティ・センター	北町公民館	S55	旧	済	A	B	A	A	B	90
下蕨公民館		H8	新	-	B	B	B	B	B	75
公共公益施設「くるる」	旭町公民館	H22	新	-	B	A	A	A	A	98
	文化ホールくるる									
	わらびネットワークステーション									
自治会館		H6	新	-	C	C	B	B	B	62

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
<p>[1] 社会教育施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央公民館、勤労青少年ホーム ・ 東公民館 ・ 西公民館 ・ 南公民館 ・ 北町公民館 ・ 旭町公民館 ・ 下蔵公民館 ・ 自治会館 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全施設において、将来にわたって機能を維持できるよう、定期的な点検等により、施設の長寿命化を図る。 ・ 公民館の更新時には、地域性や利用状況など需要の変化を考慮しながら、機能の複合化、再配置、施設規模の最適化について検討する。 ・ 勤労青少年ホームについては、利用状況の変化及び利用者の意向などを踏まえながら、施設のあり方を検討する。
<p>[2] 文化施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館 ・ 文化ホールくるる 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館は市役所庁舎の建替えに伴い、施設の一部を仮庁舎として使用しているが、令和5年の新庁舎供用開始後は、これまでと同様に、文化施設として供用する。 ・ 両施設とも地域住民の交流及び学習の場の提供、また、芸術・文化活動を支援する観点から、適正な受益者負担の下に機能を維持することを前提として、定期的な点検等により、施設の長寿命化を図る。
<p>[3] わらびネットワークステーション</p>	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用状況や協働の拠点としてのあり方等を考慮しながら、さまざまな運営方策を検討するとともに、定期的な点検等により、施設の長寿命化を図る。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
年間利用人数 ・件数	中央公民館	81,874人	82,181人	38,398人	67,144人	47,943人
		5,815件	5,912件	2,640件	4,901件	3,396件
	市民会館	146,583人	141,364人	64,511人	108,727人	97,143人
		6,069件	6,297件	1,984件	3,868件	3,536件
	東公民館	29,177人	33,153人	31,360人	35,261人	29,366人
		2,088件	2,529件	2,432件	2,843件	2,270件
	西公民館	33,051人	39,745人	38,640人	29,798人	30,755人
		2,044件	2,442件	2,505件	1,914件	1,888件
	南公民館	37,017人	38,225人	35,085人	29,631人	32,133人
		2,820件	2,911件	2,885件	2,665件	2,704件
	北町公民館	36,632人	9,870人	31,550人	35,910人	31,109人
		2,289件	605件	1,687件	2,123件	1,900件
	下蔵公民館	30,171人	30,867人	31,655人	27,948人	24,036人
		2,102件	2,125件	2,234件	1,971件	1,777件
	旭町公民館	30,683人	30,873人	32,483人	32,757人	28,326人
		2,086件	2,039件	2,472件	2,665件	1,706件
	文化ホール くるる	47,438人	52,507人	53,067人	56,445人	40,311人
		1,782件	1,812件	1,768件	1,692件	1,522件
	わらびネットワー クステーション	774人	1,704人	1,776人	1,135人	1,646人
		708件	1,206件	1,286件	697件	1,319件
自治会館	19,992人	19,338人	15,705人	11,370人	25,662人	
	627件	614件	1,055件	612件	756件	

3) 保健施設

●現状と課題

保健センターの築年数は30年を経過しており、平成28年度に空調設備を改修していますが、今後は、その他の部位についても老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
保健センター	保健センター	H2	新	-	B	C	B	B	C	61
	成人健診センター									

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 保健施設 ・保健センター ・成人健診センター	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健の拠点である保健センター、及び成人健診センターは、定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
年間利用人数	成人健診センター	2,033人	2,035人	1,998人	2,078人	2,029人

4) 老人・障害者福祉施設

●現状と課題

複合施設の総合社会福祉センターは、平成 27 年度に 1 階厨房及び 3 階の空調設備を改修しましたが、部分的な改修であり、また、老人福祉センターけやき荘の築年数は 35 年を経過し、その他の施設も 20 年以上が経過しており、今後老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
老人福祉センターけやき荘		S60	新	-	C	B	B	B	B	72
総合社会福祉センター	軽費老人ホーム ケアハウス松原	H7	新	-	B	B	C	B	C	58
	障害者福祉センター ドリーマ松原									
	多機能型事業所 スマイラ松原									
老人憩いの家みつわ苑		H9	新	-	B	B	B	B	B	75

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
<p>[1] 老人福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターけやき荘 ・軽費老人ホームケアハウス松原 ・老人憩いの家みつわ苑 	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い今後一層の需要が高まることが予想される。機能を維持する事を前提として、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・施設更新の際は、地域性や利用状況など需要の変化を考慮しながら、機能の複合化等を検討する。
<p>[2] 障害者福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉センタードリーマ松原 ・多機能型事業所スマイラ松原 	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の自立や就労を支援する役割を担っており、定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
年間利用人数	老人福祉センターけやき荘	21,021人	20,001人	18,588人	18,049人	15,697人
入所者数	ケアハウス松原	27人	28人	27人	23人	24人
年間利用人数	老人憩いの家みつわ苑	10,526人	9,833人	9,195人	9,182人	7,573人

5) 児童福祉施設

●現状と課題

児童福祉施設の耐震化は全て完了しており、平成29年度・30年度に単独施設として留守家庭児童指導室を3棟（塚越B館は200㎡未満のため対象外）建設し、平成24年度に福祉・児童センターのエレベーターの取替工事を実施しましたが、多くの施設の築年数が30年以上経過しており、今後老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名	建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果						
		耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度	
さくら保育園	S55	旧	済	B	B	C	C	C	53	
みどり保育園	S54	旧	済	C	B	C	C	C	50	
たんぽぽ保育園	S62	新	-	A	B	B	B	C	73	
くるみ保育園	H1	新	-	B	B	B	B	C	71	
さつき保育園	S56	旧	済	C	B	B	B	C	68	
福祉・児童センター	福祉・児童センター	S58	新	-	B	C	B	B	B	65
	中央地区留守家庭児童指導室（A館）									
	家庭児童相談室									
塚越コミュニティ・センター	塚越地区留守家庭児童指導室（A館）	S51	旧	済	B	B	B	B	B	75
南町コミュニティ・センター	南町地区留守家庭児童指導室（B館）	S49	旧	済	B	B	B	C	C	66
北町コミュニティ・センター	北町児童館	S55	旧	済	A	B	A	A	B	90

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
交流プラザさくら	南町児童館	H9	新	-	B	B	B	B	B	75
	南町地区留守家庭 児童指導室（A館）									
錦町児童館	錦町児童館	S52	旧	済	C	C	C	C	C	40
	錦町地区留守家庭 児童指導室（A館）									
塚越児童館	塚越児童館	H3	新	-	C	C	B	B	B	62
	塚越東地区留守家庭 児童指導室（A館）									
中央東地区留守 家庭児童指導室	A館	H30	新	-	A	A	A	A	A	100
	B館									
北町地区留守家庭 児童指導室	A館	H29	新	-	A	A	A	A	A	100
	C館									
東小学校	塚越東地区留守家庭 児童指導室（B館）	S41	旧	済	D	C	B	C	C	51
西小学校	錦町地区留守家庭 児童指導室（B館）	S54	旧	済	B	B	C	C	C	53
南小学校	南町地区留守家庭 児童指導室（C館）	S57	新	-	C	C	B	B	B	62
北小学校	北町地区留守家庭 児童指導室（B館）	S45	旧	済	A	A	A	A	A	100
中央小学校	中央地区留守家庭 児童指導室（B館）	S56	旧	済	C	C	B	B	B	62

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
<p>[1] 保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さくら保育園 ・ みどり保育園 ・ たんぽぽ保育園 ・ くるみ保育園 ・ さつき保育園 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全保育園の機械設備がC評価であり、計画的な老朽化対策を検討する。 ・ 定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・ 施設更新の際は、公立保育園の果たす役割の大きさを踏まえつつも、国の動向や保育需要の変化なども考慮する。
<p>[2] 児童センター・児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉・児童センター ・ 北町児童館 ・ 南町児童館 ・ 錦町児童館 ・ 塚越児童館 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錦町児童館は築年数が40年経過し、全ての部位がC評価と健全度が低く、老朽化対策を検討する。 ・ 定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・ 施設更新の際は、施設の利用状況や市域全体のバランス、集約・複合化の可能性などを勘案し、施設規模の見直しや再配置を検討する。
<p>[3] 留守家庭児童指導室 (※単独施設のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央東地区留守家庭児童指導室(A・B館) ・ 北町地区留守家庭児童指導室(A・C館) 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の単独施設には大きな課題はない。 ・ 学校や児童館等と複合化している施設は、学童保育の機能を維持するため、主たる施設の定期的な点検や修繕等で長寿命化、維持保全を計画的に進める。 ・ 留守家庭児童指導室の整備が必要な場合は、学校など既存施設との複合化を検討する。
<p>[4] 家庭児童相談室</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年4月から家庭児童相談室の機能を包含した「子ども家庭総合支援拠点」を市役所内児童福祉課に設置する。

《参考：施設の利用状況》

(各年4月1日現在)

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
園児数	さくら保育園	124人	122人	119人	110人	105人
	みどり保育園	120人	107人	106人	101人	103人
	たんぽぽ保育園	118人	115人	113人	111人	108人
	くるみ保育園	119人	120人	118人	108人	109人
	さつき保育園	104人	101人	99人	101人	97人
年間利用人数	福祉・児童センター	53,817人	59,203人	48,013人	54,409人	44,080人
	北町児童館	8,571人	休館	8,906人	12,083人	11,070人
	南町児童館	28,832人	25,198人	24,871人	26,652人	20,968人
	錦町児童館	21,629人	25,017人	23,618人	17,061人	16,031人
	塚越児童館	26,500人	24,199人	24,651人	22,255人	20,122人
児童数	中央地区留守家庭 児童指導室（A館）	68人	48人	46人	55人	48人
	塚越地区留守家庭 児童指導室（A館）	69人	67人	60人	55人	51人
	南町地区留守家庭 児童指導室（B館）	56人	44人	43人	49人	41人
	南町地区留守家庭 児童指導室（A館）	62人	60人	54人	49人	49人
	錦町地区留守家庭 児童指導室（A館）	52人	61人	31人	36人	40人
	塚越東地区留守家庭 児童指導室（A館）	52人	42人	51人	49人	49人
	中央東地区留守家庭 児童指導室（A館）	38人	49人	36人	31人	30人
	中央東地区留守家庭 児童指導室（B館）	-	-	25人	45人	35人
	北町地区留守家庭 児童指導室（A館）	59人	59人	43人	51人	48人
	北町地区留守家庭 児童指導室（C館）	-	-	51人	50人	56人
	塚越東地区留守家庭 児童指導室（B館）	-	27人	28人	34人	40人
	錦町地区留守家庭 児童指導室（B館）	-	-	35人	45人	44人
	南町地区留守家庭 児童指導室（C館）	-	26人	31人	38人	41人
	北町地区留守家庭 児童指導室（B館）	58人	56人	40人	31人	35人
	中央地区留守家庭 児童指導室（B館）	-	30人	34人	38人	40人

6) 学校・教育系施設

●現状と課題

全ての校舎と体育館の耐震化は完了しており、平成 23 年度に各小学校、平成 24 年度に各中学校の普通教室・特別教室に空調設備を設置し、平成 24 年度・25 年度に全ての小学校と第一中学校、東中学校の体育館の大規模改修を実施しておりますが、多くの施設の築年数は 40 年以上経過しており、今後老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
東小学校	1 期校舎	S41	旧	済	D	C	B	C	C	51
	2 期校舎	S42	旧	済	D	C	B	C	C	51
	新校舎	S58	新	-	D	C	B	B	B	59
	体育館	S47	旧	済	A	A	A	A	A	100
西小学校	1 期校舎	S42	旧	済	B	A	B	C	C	73
	2 期校舎	S46	旧	済	B	A	B	C	C	73
	3 期校舎	S51	旧	済	B	B	C	C	C	53
	4 期校舎	S54	旧	済	B	B	C	C	C	53
	体育館	S49	旧	済	B	A	A	A	A	98
南小学校	旧校舎	S50	旧	済	A	A	C	C	C	62
	新校舎	S57	新	-	C	C	B	B	B	62
	体育館	S52	旧	済	A	A	A	A	A	100
北小学校	校舎 (A)	S61	新	-	B	B	B	B	B	75
	校舎 (B)	H16	新	-	B	B	A	A	A	91
	体育館	S45	旧	済	A	A	A	A	A	100
	体育館管理棟	S45								

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
中央小学校	校舎	S56	旧	済	C	C	B	B	B	62
	体育館	S48	旧	済	B	A	A	A	A	98
中央東小学校	教室棟	S42	旧	済	B	C	B	C	C	56
	特別教室棟	S47	旧	済	B	C	C	C	C	43
	管理棟	S42	旧	済	B	B	C	C	C	53
	体育館	S52	旧	済	A	A	A	A	A	100
塚越小学校	校舎	S46	旧	済	A	C	C	C	C	45
	体育館	S54	旧	済	A	A	A	A	A	100
第一中学校	校舎 A 棟	S55	旧	済	C	C	B	C	C	53
	校舎 B 棟	S45	旧	済	C	C	B	C	C	53
	体育館	S44	旧	済	A	A	A	A	A	100
第二中学校	教室棟	S55	旧	済	C	D	B	C	C	44
	特別教室棟	S53	旧	済	C	D	B	C	C	44
	体育館	S59	新	-	D	B	B	B	B	69
東中学校	教室棟	H1	新	-	B	B	B	B	B	75
	特別教室棟	S51	旧	済	B	C	B	C	C	56
	体育館	S41	旧	済	A	A	A	A	A	100
学校給食センター		S59	新	-	C	C	B	B	B	62
中央小学校	教育センター	S56	旧	済	C	C	B	B	B	62

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
<p>[1] 小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東小学校 ・ 西小学校 ・ 南小学校 ・ 北小学校 ・ 中央小学校 ・ 中央東小学校 ・ 塚越小学校 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小学校とも体育館は概ね良好だが、校舎は計画的な老朽化対策を検討する。 ・ 専門家等による定期的な点検により施設性能の把握に努め、計画的な修繕等を行うことにより、機能を維持していくとともに、定められた周期による設備の更新等を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・ 施設更新の際は、「学校の適正規模と適正配置に関する基本方針」等を踏まえ、将来的な児童数の推移を慎重に検討した上で、適正規模・適正配置や他公共施設との複合化等を検討する。
<p>[2] 中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一中学校 ・ 第二中学校 ・ 東中学校 	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各中学校校舎は外壁がD評価である第二中学校を含め、計画的な老朽化対策を検討する。 ・ 専門家等による定期的な点検により施設性能の把握に努め、計画的な修繕等を行うことにより、機能を維持していくとともに、定められた周期による設備の更新等を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・ 施設更新の際は、「学校の適正規模と適正配置に関する基本方針」等を踏まえ、将来的な生徒数の推移を慎重に検討した上で、適正規模・適正配置や他公共施設との複合化等を検討する。
<p>[3] 学校給食センター</p>	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化を図り、安心・安全な給食サービスを提供していく。 ・ 施設更新の際は、PFIによる移設建替えなど複数の整備・運営手法を比較検討し、事業費の軽減を図りながら、衛生管理基準へ対応した安定的な給食の供給を目指す。
<p>[4] 教育センター</p>	<p>長寿命化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童や生徒、保護者への相談体制の充実と教育課題の研究を目的とする教育センターは、引き続き、中央小学校内で運営を継続していく。

《参考：施設の利用状況》

(各年5月1日現在)

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
児童数 ・学級数	東小学校	307人	335人	344人	347人	366人
		12クラス	12クラス	14クラス	14クラス	14クラス
	西小学校	416人	424人	423人	431人	433人
		14クラス	14クラス	15クラス	17クラス	17クラス
	南小学校	531人	510人	519人	537人	549人
		21クラス	20クラス	20クラス	21クラス	20クラス
	北小学校	565人	561人	595人	603人	577人
		21クラス	21クラス	22クラス	22クラス	21クラス
	中央小学校	321人	329人	335人	340人	354人
		12クラス	12クラス	12クラス	12クラス	13クラス
	中央東小学校	385人	403人	410人	410人	410人
		12クラス	14クラス	14クラス	15クラス	15クラス
	塚越小学校	346人	342人	352人	359人	387人
		12クラス	12クラス	13クラス	13クラス	14クラス
	第一中学校	555人	539人	482人	463人	439人
		17クラス	18クラス	16クラス	15クラス	13クラス
	第二中学校	469人	480人	505人	495人	507人
		15クラス	16クラス	17クラス	17クラス	17クラス
東中学校	379人	359人	347人	367人	359人	
	11クラス	10クラス	10クラス	13クラス	13クラス	
年間利用件数	教育センター	342件	339件	248件	851件	696件

7) 図書館・資料館

●現状と課題

図書館は平成30年度に耐震補強工事を行いました。築年数42年が経過、歴史民俗資料館は平成26年度に空調設備を改修しましたが、築年数は30年が経過していることから、老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
塚越コミュニティ・センター	図書館塚越分館	S51	旧	済	B	B	B	B	B	75
錦町コミュニティ・センター	図書館錦町分館	S53	旧	不要	B	B	B	C	C	66
北町コミュニティ・センター	図書館北町分館	S55	旧	済	A	B	A	A	B	90
図書館（視聴覚ライブラリー）		S54	旧	済	C	B	B	C	C	63
歴史民俗資料館		H2	新	-	B	B	B	B	B	75

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 図書館 (※単独施設のみ)	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。 施設更新の際は、施設の利用状況や市域全体のバランス、複合化の可能性などを勘案し、施設規模の見直しや再配置を検討する。
[2] 資料館 ・歴史民俗資料館	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関する教育、学術及び文化の発展に寄与するため、定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
年間貸出者数	図書館	108,689人	108,749人	108,954人	89,724人	102,055人
年間利用人数	歴史民俗資料館	35,426人	35,485人	35,591人	36,003人	32,550人

8) 体育施設

●現状と課題

市民体育館を含む北町コミュニティ・センターは平成 28 年度に耐震補強工事と併せて大規模改修工事を実施していますが、体育施設は全て築年数が 40 年前後経過しており、特に塚越プールは管理棟のほか、本計画対象外のプールサイドやプール槽本体等も老朽化が進んでおり、今後老朽化対策が必要となります。

●施設の評価結果

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
北町コミュニティ・センター	市民体育館	S55	旧	済	A	B	A	A	B	90
中央プール	管理棟事務所	S55	旧	-	B	C	C	C	C	43
塚越プール	管理棟	S54	旧	-	C	C	C	C	D	36

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 体育館	長寿命化	・住民の健康を促進する観点から、適正な受益者負担の下に、定期的な点検や修繕等で必要な機能を維持していくとともに、施設の老朽化対策と稼働率を高める取り組みを行っていく。
[2] プール ・中央プール管理棟 ・塚越プール管理棟	長寿命化	・定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、維持管理費用、利用状況、利用者の意向などを踏まえ、施設の更新の際には統合、廃止なども含めて検討する。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
年間利用人数	市民体育館	147,259 人	35,666 人	103,214 人	148,830 人	138,006 人
	中央プール	7,131 人	6,633 人	6,164 人	7,876 人	6,182 人
	塚越プール	6,842 人	6,689 人	6,211 人	8,119 人	6,360 人

9) 野外活動施設

●現状と課題

信濃わらび山荘は築年数が33年経過していることから、老朽化対策が必要となります。

●施設の評価

施設名	建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
		耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
信濃わらび山荘	S62	新	-	C	C	C	C	C	40

※一体施設として評価

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 野外活動施設 ・信濃わらび山荘	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検や修繕等で機能を維持していく。 施設更新の際は、維持管理費用、利用状況、利用者の意向などを踏まえ、施設を保有しない施策なども含めて検討する。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
年間利用人数	信濃わらび山荘	2,706人	2,436人	2,016人	2,264人	2,443人

10) 普通財産施設

●現状と課題

けやき保育園は公共公益施設「くるる」、生活介護等事業所は交流プラザさくらにあり、それぞれ民間事業者に建物を貸し付けていますが、施設の維持管理は主たる施設と同様に行う必要があります。

●施設の評価

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
公共公益施設 「くるる」	けやき保育園	H22	新	-	B	A	A	A	A	98
交流プラザさくら	生活介護等事業所	H9	新	-	B	B	B	B	B	75

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 普通財産施設 ・けやき保育園 ・生活介護等事業所	長寿命化	・建物の基本的方針は、主たる施設と同様である。より一層施設の効率的な利用ができる方策について検討する。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
園児数	けやき保育園	67人	66人	65人	67人	67人

1 1) 企業会計施設

●現状と課題

市立病院は平成 23 年度に本館・サービス棟の空調設備等を更新していますが、本館とサービス館は築年数が 50 年経過しており、耐震化が未実施であることから、早急な耐震化対策と老朽化対策が必要となります。

●施設の評価

施設名		建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
			耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
市立病院	本館	S45	旧	未	D	D	C	D	D	21
	サービス棟	S45	旧	未	D	D	C	D	D	21
	リハビリテーション棟	H12	新	-	B	B	B	B	B	75

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] 病院	耐震化	<ul style="list-style-type: none"> 公立病院の果たす役割の大きさを踏まえつつ、地域医療の拠点として、将来にわたって機能を維持できるように、引き続き経営基盤の強化と経営の安定化を図るとともに、施設のライフサイクルコストを考慮しながら、耐震化に向けた対策を早急に検討する。

《参考：施設の利用状況》

項目	施設名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
年間利用件数（入院）	市立病院	31,354 人	34,501 人	34,919 人	33,421 人	34,821 人
年間利用件数（外来）		127,976 人	126,685 人	129,159 人	126,006 人	124,190 人

12) その他施設

●現状と課題

駅前西口連絡所は築年数が40年経過しており、旧耐震基準の建物ですが耐震診断は未実施なことから、今後は耐震化及び老朽化対策が必要となります。

●施設の評価

施設名	建築年	耐震性能		簡易劣化度調査結果					
		耐震基準	耐震補強工事	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
駅前西口連絡所	S55	旧	-	B	C	C	C	C	43
安全安心推進課生活環境係事務所	H18	新	-	B	B	B	B	B	75

●基本的な方針・計画

施設名称	基本方針	計画期間の取組概要
[1] その他施設 ・駅前西口連絡所 ・安全安心推進課生活環境係事務所	長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 駅前西口連絡所については、現在、主に駅西口化粧室の機能を果たしているが、老朽化が進んでいることや新耐震基準より前に建築された建物であることから、施設の有効活用について、廃止なども含め検討する。 安全安心推進課生活環境係事務所については、定期的な点検や修繕等で機能を維持していくとともに、計画的な設備の更新を行い、施設の長寿命化によるトータルコストの縮減・平準化を図る。